

J R 総連通信

2022年10月7日 No.1584

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

J R 総連推薦議員懇談会所属・横沢たかのり参議院議員と今後のローカル線および新幹線ネット予約における身体障害者割引の適用に関する課題について認識の共有をはかる！

10月6日、JR総連・小林政策・政治部長とJR東労組・佐藤中央執行委員長は、岩手県出身の参議院議員・横沢高德氏と「JR東日本の組織再編の現状と東北地域におけるローカル線の課題」およびJR東海労がこの間団体交渉等で改善をはかるために会社に申し入れしている「新幹線ネット予約システムにおける身体障害者割引の適用に関する課題」について意見交換をおこないました。

自らも車いす生活を送る横沢たかのり参議院議員は、地元東北地域の33市町村の自治体をまわり、ローカル線の現状と今後の課題について地元の意見を聞いており、「首長さんからは、国が事業者と協議の場を作ろうとしているが、協議に応じれば、存廃協議が加速し、鉄道がなくなることを危惧する」との声を紹介してくれました。また、「地方の過疎化は、地元を離れ首都圏等に一極集中してしまうような社会構造が要因の一つにある。生まれ育った地元就職し、地元で生活を送れるようにするのは政治の役割だ」「労働組合の皆さんとも地域が意見交換できるような連携をはかっていきたい」など、私たちの思いに賛同いただきました。

JR東海労がこの間取り組んでいる、「新幹線ネット予約システムにおける身体障害者割引の適用に関する申し入れ」の現状については、横沢議員もこの間、国会で質問にたっており、「身体が不自由な利用者が乗車

券等を購入する場合に身体障害者割引が適用されるが、ネット予約では割引が適用されず、駅窓口に行かなくては切符を購入することができないのは大きな負担となっている」「障害を持った方がネット予約を使えれば窓口に行く手間も省け、どんなに楽になるか」「皆さんと連携をはかり改善にむけて協力していく」などの力強い意見をいただきました。

10月14日より国による旅行支援が始まります。誰もが気軽に予約ができて旅行を楽しむ社会でなくてはならないと思います。そのためにはJRも利用しやすいJRでなくてはなりません。JR総連は、今後も各単組と連携をはかり、地域に根ざした運動をJR総連推薦議員懇談会と協力し、国政に届けるために奮闘していきます。

